

日本脳神経超音波学会 認定脳神経超音波検査士
改訂版資格申請用症例報告書(記載例) ①

日本脳神経超音波学会資格認定委員会御中

2011年 11月 20日 (西暦)

症例報告書(①～⑦)を提出します。

申請者(自署): 山田 太郎



上記の者が、提出した超音波検査症例報告書に関して相違ないことを証する。

2011年 11月 11日 (西暦)

施設名: 脳神経超音波病院

職名: 医師 臨床検査技師 診療放射線技師 看護師 准看護師

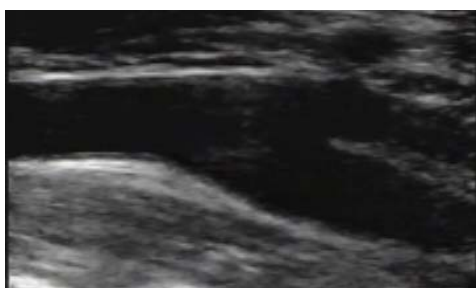
証明者(自署): 川上 次郎



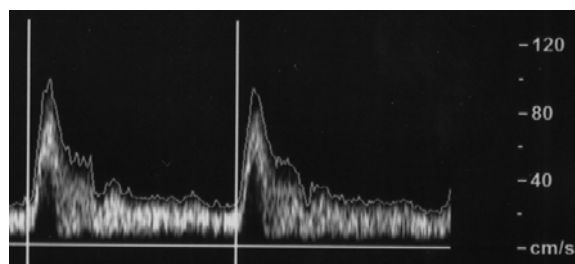
頸部超音波検査

(1) 一側の頸動脈分岐部の B モード画像 (総頸動脈と内頸動脈を連続して描出して下さい)。(2) 一側総頸動脈血流速度波形。(3) 一側椎骨動脈の B モード画像。(4) 一側椎骨動脈血流速度波形。(対象者は誰でも可。個人情報 that 特定できないよう配慮して下さい。下記スペースに収まるようトリミングして下さい。)

(1)



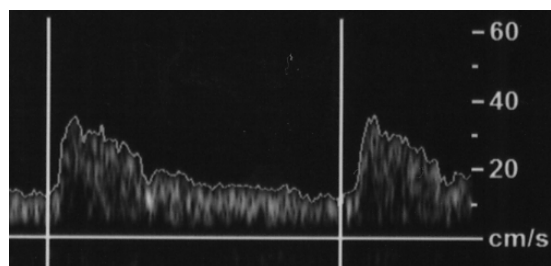
(2)



(3)



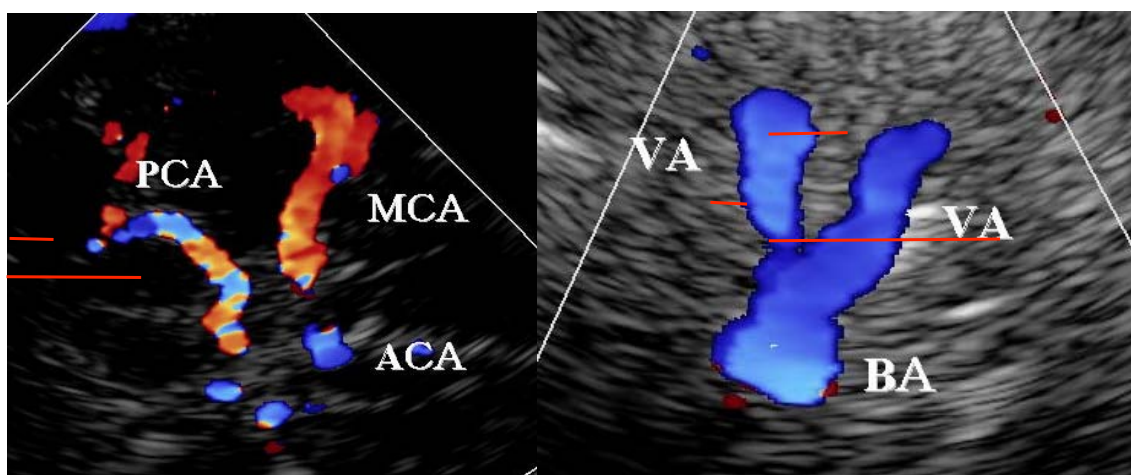
(4)



日本脳神経超音波学会 認定脳神経超音波検査士
改訂版資格申請用症例報告書(記載例) ②

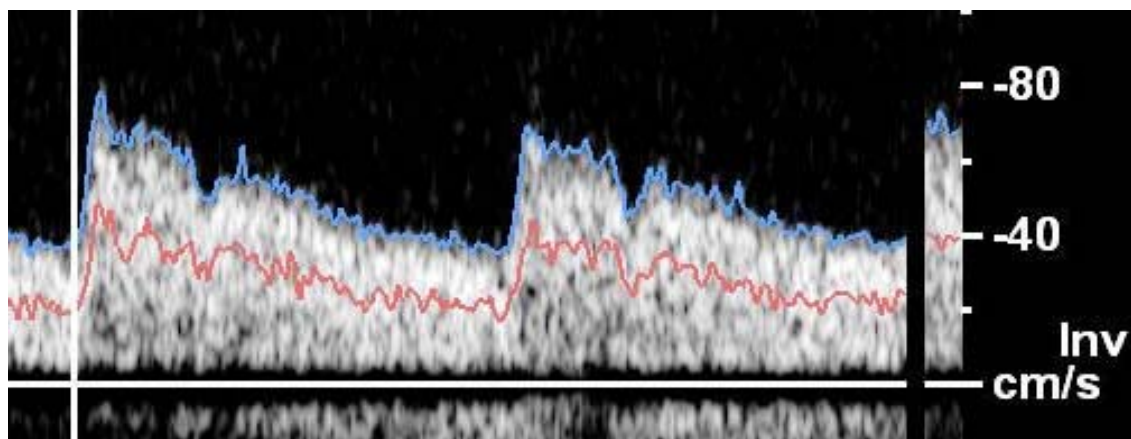
経頭蓋超音波検査

左右どちらかの中大脳動脈、前大脳動脈、後大脳動脈、椎骨動脈、および脳底動脈のカラーフロー画像を貼付して下さい。一枚の写真に複数の血管を描出されてもけっこうです。各写真の下に対象血管名を明記して下さい。左右どちらかの中大脳動脈血流速度波形の写真も貼付して下さい。(対象者は誰でも可。個人情報特定できないよう配慮して下さい。下記スペースに収まるようトリミングして下さい。)



MCA:右中大脳動脈
PCA:右後大脳動脈
ACA:右前大脳動脈

VA:左が右椎骨動脈、右が左椎骨動脈
BA:脳底動脈



右中大脳動脈血流速度波形

日本脳神経超音波学会 認定脳神経超音波検査士

改訂版資格申請用症例報告書

③以降の書き方

記載に際して注意点を以下に記します。このページは送付する必要はありません。

(1) リスクは該当項目を○で囲み、記入項目を記載。

(2) 頸部超音波検査か経頭蓋超音波検査かを○で選択。頸部超音波検査の報告には、頸動脈もしくは椎骨動脈の高度狭窄や閉塞例を、または経頭蓋超音波検査の報告には、異常所見を呈するものを少なくとも5例以上含め詳記すること。

※○印がずれていないか、ご提出前に再度、印刷した書類をご確認下さい。

(3) 頸動脈の場合、特異的な所見として、頸動脈閉塞（総頸動脈、内頸動脈起始部、遠位部を明記）の有無、狭窄度（面積、ECST、NASCETのいずれかの値を明記。NASCETはPSVからの推定でも可）、プラークの性状などを記載。

（参考）狭窄率を最大PSVで推定する方法：最大PSV=200-230cm/sは推定でNASCET70%相当、125-130 cm/sは推定でNASCET50%相当として、推定でNASCET70%以上、70-50%、50%未満と分類する。椎骨動脈閉塞が疑われる場合は、閉塞部位（起始部、後下小脳動脈分岐前、分岐後、もしくは後下小脳動脈止まり）を記す。正常の場合は左右総頸動脈のmax IMTのみ記入。

(4) 経頭蓋超音波検査の場合は閉塞や狭搾（最高流速を併記）などの所見を記し、正常の場合は、任意の一動脈の収縮期、拡張末期、平均の血流速度を動脈名とともに記す。

<記載例>

(1) 狭窄診断：面積70%、ECST55%、NASCET80%、推定でNASCET70%以上（理由：最大PSV=210cm/s）

(2) 閉塞診断：

・CCA内またはICA起始部またはVA起始部閉塞（理由：CFIまたはPDでも内腔の血流シグナルが検出できない）

・ICA遠位部閉塞疑い（理由：ICA入口部の波形がto-and-fro型、CCA（EDV）比=4.3）

・VA PICA前閉塞疑い（理由：VAのEDV=0cm/s）、PICA後閉塞疑い（理由：平均流速14cm/s、左右比1.6、血管径比1.2）、PICA-end疑い（理由：平均流速8cm/s、左右比2.0、血管径比1.8）

日本脳神経超音波学会 認定脳神経超音波検査士 改訂版資格申請用症例報告書(記載例) ③

症例1 年齢70歳、(男)女(頸部、経頭蓋)
高血圧、糖尿病、脂質異常症、喫煙、虚血性心疾患、動脈解離、心疾患()、脈管疾患()
特異的な所見：右内頸動脈起始部 ECST70%狭搾

症例2 年齢76歳、(男)女(頸部、経頭蓋)
高血圧、糖尿病、脂質異常症、喫煙、虚血性心疾患、動脈解離、心疾患()、脈管疾患(肺塞栓)
特異的な所見：左内頸動脈閉塞 (CFI で内腔の血流シグナルが検出できない)

症例3 年齢55歳、(男)女(頸部、経頭蓋)
高血圧、糖尿病、脂質異常症、喫煙、虚血性心疾患、動脈解離、心疾患(心房細動)、脈管疾患(右下肢動脈塞栓)
特異的な所見：IMT 右 0.7mm、左 0.6mm

症例4 年齢82歳、(男)女(頸部、経頭蓋)
高血圧、糖尿病、脂質異常症、喫煙、虚血性心疾患、動脈解離、心疾患()、脈管疾患()
特異的な所見：左内頸動脈 面積50%狭搾、右内頸動脈 面積60%狭搾

症例5 年齢49歳、(男)女(頸部、経頭蓋)
高血圧、糖尿病、脂質異常症、喫煙、虚血性心疾患、動脈解離、心疾患()、脈管疾患()
特異的な所見：右内頸動脈起始部に厚さ2.2mmのプラーク

症例6 年齢72歳、(男)女(頸部、経頭蓋)
高血圧、糖尿病、脂質異常症、喫煙、虚血性心疾患、動脈解離、心疾患(発作性心防細動)、脈管疾患(大動脈炎)
特異的な所見：右中大脳動脈閉塞 (CFI で内腔の血流シグナルが検出できない、後大脳動脈血流速度は検出可)

症例7 年齢65歳、(男)女(頸部、経頭蓋)
高血圧、糖尿病、脂質異常症、喫煙、虚血性心疾患、動脈解離、心疾患(僧帽弁狭搾)、脈管疾患()
特異的な所見：左中大脳動脈狭搾(最大PSVは300cm/sec)

症例8 年齢55歳、(男)女(頸部、経頭蓋)
高血圧、糖尿病、脂質異常症、喫煙、虚血性心疾患、動脈解離、心疾患()、脈管疾患()
特異的な所見：右中大脳動脈 I60/60/110 cm/sec (収縮期/拡張期/平均)

症例9 年齢84歳、(男)女(頸部、経頭蓋)
高血圧、糖尿病、脂質異常症、喫煙、虚血性心疾患、動脈解離、心疾患()、脈管疾患()
特異的な所見：右椎骨動脈 PICA 前閉塞 (理由：VA の EDV=0cm/sec)

症例10 年齢49歳、(男)女(頸部、経頭蓋)
高血圧、糖尿病、脂質異常症、喫煙、虚血性心疾患、動脈解離、心疾患()、脈管疾患()
特異的な所見：左内頸動脈 推定でNASCET70%以上狭窄 (理由 最大PSV=250cm/sec)